完栗市公共施設等総合管理計画 個別計画

環境衛生施設(案)

令和元年〇月 宍粟市

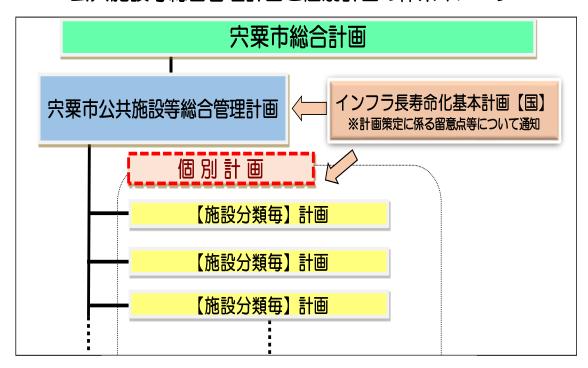
1. 個別計画とは

個別計画とは、宍粟市における公共施設・インフラ資産の機能・規模・配置について総合的に分析し、計画的・効率的に更新・改修等を実施することにより、公共施設等の最適化の実現を図るため、平成28年2月に策定した「宍粟市公共施設等総合管理計画(2016年度(平成28年度)~2025年度(令和7年度))」(以下、「総合管理計画」という。)に基づき、市の施設の分類ごとの維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策内容、実施時期、対策費用等を定める計画です。

2. 計画の位置づけ等

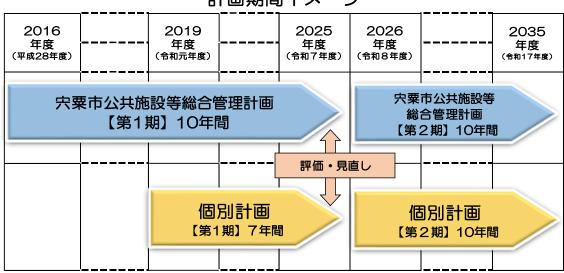
個別計画は、まちづくりの最上位計画である「宍粟市総合計画」の基本構想の もと、公共施設等の総合的かつ計画的な整備に関する基本方針を定めた総合管理 計画の下位計画として位置づけます。また、内容については国が示す「インフラ 長寿命化基本計画」(平成25年11月29日インフラ老朽化対策の推進に関する 関係省庁連絡会議決定)に沿って作成しています。

公共施設等総合管理計画と個別計画の体系イメージ



3. 計画の期間

個別計画の期間は、総合管理計画の評価・見直し時期に合わせ2019年度(令和元年度)から2025年度(令和7年度)までの7年間を第1期とします。第2期以降については、総合管理計画に合わせ10年間とします。ただし、社会情勢等により変更が生じた場合は、その都度見直しを行い計画に反映させるものとします。



計画期間イメージ

4. これまでの取組結果及び目標について

総合管理計画では、2016年度(平成28年度)から2025年度(令和7年度)までの10年間で公共施設の延床面積を9%削減することを目標としています。2016年度(平成28年度)から2018年度(平成30年度)までの3年間で、3.0%の削減となっており、目標達成のためには残り7年間で6.0%の削減が必要となっています。

目標達成のため、今回策定した各分野の個別計画に基づき、計画を実行していくことは言うまでもありませんが、更なる削減に向けて取り組んでいくことが必要です。

5 1-3-7-13-1/M 5 1-3-7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-								
	平成28年度	平成30年度末	増減					
	延床面積	延床面積	1百1199					
合計	261,455.08 m	253,431.61 m	-8,023.47 m*					

3年間の削減内容

※広域消防施設の減少を除いた数値。

目標削減延床面積	3年間での	達成%	備考
(H28面積の9%)	削減延床面積	(平成30年度末)	
23,530.95m²	8,023.47m²	3.0%	広域消防施設除く

5. 優先順位の考え方等について

施設の方向性等を検討する上で、施設のハード面、ソフト面の評価等を行い、 その結果をもとに、存続廃止分類表に当てはめ、原則として、該当する区分での 方向性を検討しています。

【ハード面の評価】

ハード面については、<u>残償却年数</u>、<u>建物残償却割合</u>等を参考に以下の判定基準によりA~Dに分類しています。

- ※残償却年数二建物耐用年数一経過年数
- ※建物残償却割合二残償却年数/耐用年数×100 (数値が低いほど残償却が少ない)

ハード面の判定基準

判定区分	内 容
А	・全体的に健全である。 ※緊急の補修の必要はないため、日常の保全で管理できる状態である。
В	・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 ※緊急の補修の必要はないが、維持保全での管理の中で、部分劣化について定期的な観察が必要な状態である。
С	・全体的に劣化が進行している。 ※現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、更新等が必要な状態である。
D	・全体的に顕著に劣化が進行している。 ※重大な事故につながる恐れがあり、建物の利用禁止、あるいは緊急の修繕等が必要な状態である。

ソフト面については、判定基準の4つの区分毎に評価を行い、評価を点数化し 判定基準表によりA~Dに分類しています。

ソフト面の判定基準

区分	評価及び点数	内容
		法律等による設置義務があるか
公共性	a:高い(3点)	市民が生活を送る上での必要性は高いか
ム共住	b:普通(2点) c:低い(1点)	市の施策を推進する上での必要性は高いか
		サービス内容及び利用実態が設置目的に即しているか
有効性	a:高い(3点) b:普通(2点)	施設の利用状況(稼働率等)はどうか
HWIL	c:低い(1点)	今後の利用者数等の見込みはどうか
効率性	a:高い(3点) b:普通(2点)	民間事業のノウハウ等を活用し効率良く管理運営を行えているか
劝举注	c:低い(1点)	維持管理費に対する利用料等の収入割合はどうか
特質性	a:高い(3点) b:普通(2点)	歴史的、文化的価値のある施設か
打貝は	c:低い(1点)	他の施設では代替の効かない施設であるか

ソフト面判定基準表

判定	Α		判定 A B		C		D		
点数	12	11	10	9	8	7	6	5	4

例) 公共性a、有効性b、効率性b、特質性bの施設の場合 3点(a) +2点(b) +2点(b) +2点(b) =9点 9点=ソフト面の「判定」は「B」となる。

【存続廃止分類】

ハード面、ソフト面の結果をもとに以下の分類表に区分し、原則として、該当 する区分での方向性を検討することとしています。



例)Nード面がC、ソフト面がAの場合 \rightarrow 存続廃止分類は「II」で方向性を検討

【判断結果】判断結果については以下の表により施設の方向性を記載しています。

存続廃止分類	存廃	方向性	内容例
		現状維持	現状のまま維持
		多機能化	分類の違う別の目的の機能を取り入れる
I	存続	集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
1		各種見直し	運営方法、使用料等を見直す
		広域化	他自治体と共用しコスト分担を行う
		移管	民間へ売却、地域へ譲渡等機能と共に移管する
		多機能化	分類の違う別の目的の機能を取り入れる
		集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
	見直して存続	各種見直し	運営方法、使用料等を見直す
П		広域化	他自治体と共用しコスト分担を行う
П		移管	民間へ売却、地域へ譲渡等機能と共に移管する
		民間譲渡	民間業者に売却等
	廃止	転用	他の用途に転用を行う
		地域移管	自治会等地域へ移管する
	見直して存続	規模縮小	規模を縮小し立替等を行う
Ш	兄旦して行机	広域化	他自治体と共用しコスト分担を行う
Ш	廃止	民間譲渡	民間業者に売却等
	光 止	機能移転	機能を移転し施設は除却
IV	廃止	民間譲渡	民間業者に売却等
IA	光 止	除却	施設を除却

6. 環境衛生施設一覧

(2019年4月1日現在)

NO	施設名称	住 所	判断結果
1	あじさい苑 姫路市安富町安志 726		現状維持
2	山崎浄苑 山崎町川戸 1307-4		除却
3	しそうクリーンセンター	しそうクリーンセンター 一宮町嶋田 337-5	
4	しらぎく苑	一宮町杉田 503-3	現状維持
5	つつじ苑	つつじ苑 千種町千草 793-6	
6	宍粟北残渣最終処分場	千種町岩野辺 177-157	現状維持

7. 環境衛生施設全体の現状及び課題等について

市内の環境衛生施設については、火葬施設が3ヶ所、し尿処理施設が1ヶ所、一般廃棄物最終処分施設が1ヶ所、その他の施設が1ヶ所が配置されています。 火葬施設、し尿処理施設、一般廃棄物最終処分施設については、民間業者に業務を委託しています。各施設は住民生活において不可欠なものとなっていますが、経年の劣化による修繕費や空調設備等の老朽化による設備更新費用等が毎年必要となっています。

山崎浄苑は、職員の事務所及び収集車の駐車スペースとして使用しています。

8. 環境衛生施設全体の整備に係る基本方針

火葬施設、し尿処理施設、一般廃棄物最終処分施設については、住民生活において必要不可欠な施設であるため、環境面、安全性を定期的に確認しながら必要な修繕や改修を行い、適正な維持管理に努めていきます。また、修繕や改修の手法については、長期的な目線で最良の方法を検討していきます。

山崎浄苑については、機能の移転が可能であることから、今後、移転先を検討 し、除却を行います。

9. 施設の現状及び今後の方向性について

NO	1	分類	環境衛	生施設	所管課	環境	竟課
施設名		あじさい苑		建物名		火葬場	
所在地	姫路:	市安富町安志	ī726	延床面積(合計)	710.85m²	主体構造	鉄筋コンクリート
建築年	1991年	耐用年数	50年	取得価格(合計)	431,832,960円	建物数	2
	ハード面	残償却	印年数	建物残假	賞却割合	ハード	面判定
施設の現状]	22	2年	44	1%	B(部分	3劣化)
3333	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト	·面判定
	ノノ I 曲	a (高い)	a (高い)	b(普通)	a (高い)	/	Δ
耐震工事(診)	かの有無(き	予定含む)					
		建物	加名	実施時期	診断結果等		
耐震コ	事						
耐震調	沙 断						
今後の方向性							
方向性判と	断の結果	存続廃止 分類	I (7	字続)	判断 ^{捐累} 現状維持		維持
施設の今後	の方向性	必要な修繕	を行い、長期	使用できる	よう施設を維	掛していく	0
今後7年間で	行う予定の	 事業等					
大規模	莫改修・修繕	善・廃止等の	事業	概算額	(千円)	備	考

NO	2	分類	環境衛	生施設	所管課	環境	竟課	
施設名		山崎浄苑		建物名		処理場		
所在地	山崎	町川戸130	7-4	延床面積(合計)	2,251.17m²	主体構造	鉄筋コンクリート	
建築年	1981年	耐用年数	38年	取得価格(合計)	452,408,350円	建物数	7	
	ハード面	残償去	即年数	建物残值	賞却割合	ハード	·面判定	
施設の現状		0	年	0	%	C (\$	5化)	
2002-3-3-0	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト	·面判定	
		c (低い)	b(普通)	c (低い)	b(普通)	(С	
耐震工事(診)	かの有無(き	予定含む)						
		建物	勿名	実施時期		診断結果等		
耐震コ	「事							
耐震部	彡 断							
今後の方向性								
方向性判断	断の結果	存続廃止 分類	Ⅳ〔譲渡	• 除却等)	判断 結果			
施設の今後	の方向性	機能の移転	先を検討し、	除却する。				
今後7年間で	行う予定の	事業等						
大規模		・廃止等の	事業	概算額	(千円)	備	考	
	施設の	除却		-	_			

NO	3	分類	環境律	生施設	所管課	環境課		
施設名		ラクリーンセ		建物名		ノーンセンター		
所在地		字町嶋田337		延床面積(合計)	1,728.94m²	主体構造	鉄筋コンクリート	
建築年	1996年	耐用年数	38年	取得価格(合計)	1,496,362,000円	建物数	2	
	ハード面	残償去	印年数	建物残償却割合		ハード面判定		
施設の現状		15	5年	39%		A(健全)		
が出るマンジョウへ	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト	·面判定	
		a (高い)	a (高い)	b(普通)	a (高い)	А		
耐震工事(診)	かの有無(き	I		ı				
		建物	加名 ————————————————————————————————————	実施時期		診断結果等		
耐震コ	事							
耐震調	诊断							
今後の方向性								
方向性判断	断の結果	存続廃止 分類	I (花	字続)	判断 結果	現状	維持	
施設の今後	の方向性	必要な修繕	を行い、長其	月使用できる	よう施設を維	掛していく	0	
今後7年間で	行う予定の	事業等						
大規模	莫改修•修總	・廃止等の	事業	概算額	(千円)	備	考	
NO	4	分類	環境衛	生施設	所管課	環均	竟課	
NO 施設名	4	分類 しらぎく苑		生施設建物名	所管課	環境	竟課	
					所管課 1,728.94㎡		竟課 鉄筋コンクリート	
施設名		しらぎく苑 宮町杉田503		建物名		火葬場		
施設名	— {2010年	しらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数	3-3	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計)	1,728.94㎡	火葬場 主体構造 建物数	鉄筋コンクリート	
施設名	<u> </u>	しらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償去 41	3-3 50年 ³¹ 年数	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計) 建物残債	1,728.94㎡ 393,037,320円 賞却割合)%	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(個	鉄筋コンクリート3面判定建全)	
施設名 所在地 建築年	— {2010年	しらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償去 41 公共性	3-3 50年 即年数 年 有効性	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計) 建物残債 80 効率性	1,728.94㎡ 393,037,320円 賞却割合)% 特質性	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(優 ソフト	鉄筋コンクリート3面判定建全)面判定	
施設名 所在地 建築年 施設の現状	- 2 2010年 ハード面 ソフト面	Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償却 41 公共性 a(高い)	3-3 50年 ³¹ 年数	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計) 建物残債	1,728.94㎡ 393,037,320円 賞却割合)%	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(優 ソフト	鉄筋コンクリート3面判定建全)	
施設名 所在地 建築年	- 2 2010年 ハード面 ソフト面	Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償基 41 公共性 a(高い) 予定含む)	3-3 50年 即年数 年 有効性 a(高い)	建物名 延床面積 (合計) 取得価格 (合計) 建物残值 80 効率性 b (普通)	1,728.94㎡ 393,037,320円 賞却割合)% 特質性	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(例 ソフト	鉄筋コンクリート3面判定建全)面判定	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断	- 2 2010年 ハード面 ソフト面 fiの有無(Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償却 41 公共性 a(高い)	3-3 50年 即年数 年 有効性 a(高い)	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計) 建物残債 80 効率性	1,728.94㎡ 393,037,320円 賞却割合)% 特質性	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(優 ソフト	鉄筋コンクリート3面判定建全)面判定	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断	- 2 2010年 ハード面 ソフト面 f)の有無(Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償基 41 公共性 a(高い) 予定含む)	3-3 50年 即年数 年 有効性 a(高い)	建物名 延床面積 (合計) 取得価格 (合計) 建物残值 80 効率性 b (普通)	1,728.94㎡ 393,037,320円 賞却割合)% 特質性	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(例 ソフト	鉄筋コンクリート3面判定建全)面判定	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断 耐震工事(診断	- 5 2010年 ハード面 ソフト面 f)の有無(-5	Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償基 41 公共性 a(高い) 予定含む)	3-3 50年 即年数 年 有効性 a(高い)	建物名 延床面積 (合計) 取得価格 (合計) 建物残值 80 効率性 b (普通)	1,728.94㎡ 393,037,320円 賞却割合)% 特質性	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(例 ソフト	鉄筋コンクリート3面判定建全)面判定	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断	- 5 2010年 ハード面 ソフト面 f)の有無(-5	Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償基 41 公共性 a(高い) 予定含む)	3-3 50年 即年数 年 有効性 a(高い)	建物名 延床面積 (合計) 取得価格 (合計) 建物残值 80 効率性 b (普通)	1,728.94㎡ 393,037,320円 第却割合)% 特質性 a(高い)	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(例 ソフト	鉄筋コンクリート3面判定建全)面判定	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断 耐震工事(診断	- 5 2010年 ハード面 ソフト面 f)の有無(音	Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償基 41 公共性 a(高い) 予定含む)	3-3 50年 印年数 年 有効性 a(高い)	建物名 延床面積 (合計) 取得価格 (合計) 建物残值 80 効率性 b (普通)	1,728.94㎡ 393,037,320円 賞却割合)% 特質性	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(係 ソフト 診断結果等	鉄筋コンクリート3面判定建全)面判定	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震]	2010年 ハード面 ソフト面 別の有無(ご事 診断	Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償基 41 公共性 a(高い) 予定含む) 建物	3-3 50年 印年数 年 有効性 a(高い)	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計) 建物残价 8亿 郊率性 b(普通)	1,728.94㎡ 393,037,320円 第却割合)% 特質性 a(高い)	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(像 ソフト 診断結果等	鉄筋コンクリート3面判定配判定へ本推持	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震] 可震調 う後の方向性 方向性判断	- 2 2010年 ハード面 ソフト面 所の有無(音) が断 がの結果 の方向性	Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償基 41 公共性 a(高い) 予定含む) 建物 存続廃止 必要な修繕	3-3 50年 印年数 年 有効性 a(高い)	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計) 建物残价 8亿 郊率性 b(普通)	1,728.94㎡ 393,037,320円 資却割合)% 特質性 a(高い)	火葬場 主体構造 建物数 ハード A(像 ソフト 診断結果等	鉄筋コンクリート3面判定配判定へ本推持	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震) 耐震 耐震 耐震 対 を持ちます。 を持ちまする を持ちます。 を持ちまする を持ちます。 を持ちまする を持ちま	2010年 ハード面 ソフト面 別の有無(ご事 診断 の方向性 行う予定の事	Uらぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償基 41 公共性 a(高い) 予定含む) 建物 存続廃止 必要な修繕	3-3 50年 印年数 年 有効性 a(高い) 加名	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計) 建物残价 8亿 郊率性 b(普通)	1,728.94㎡ 393,037,320円 資却割合)% 特質性 a(高い) 判断 結果	火葬場主体構造建物数ハードA(仮ソフト診断結果等現状持していく	鉄筋コンクリート3面判定主全)・面判定へ・・・・ががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが<	
施設名 所在地 建築年 施設の現状 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震工事(診断 耐震) 耐震 耐震 耐震 対 を持ちます。 を持ちまする を持ちます。 を持ちまする を持ちます。 を持ちまする を持ちま	2010年 ハード面 ソフト面 別の有無(ご事 診断 の方向性 行う予定の事	USぎく苑 宮町杉田503 耐用年数 残償却 41 公共性 a(高い) 予定含む) 建物 存続廃止 必要な修繕。	3-3 50年 印年数 年 有効性 a(高い) 加名	建物名 延床面積(合計) 取得価格(合計) 建物残(の	1,728.94㎡ 393,037,320円 資却割合)% 特質性 a(高い) 判断 結果	火葬場主体構造建物数ハードA(仮ソフト診断結果等現状持していく	鉄筋コンクリート3面判定本へ維持。	

施設名		つつじ苑		建物名	火葬場			
所在地	千	種町千草793-6		延床面積(合計)	260.55m²	主体構造	鉄筋コンクリート	
建築年	2002年	耐用年数	38年	取得価格(合計)	196,560,000円	建物数	1	
	ハード面	残償却	印年数	建物残價	賞却割合	ハード	面判定	
施設の現状	/	21	年	55	5%	A (俊	全)	
がいるのとくうかいれて	ソフト面	公共性	有効性	効率性	特質性	ソフト	面判定	
	グノド画		a (高い)	b(普通)	a (高い)	A	7	
耐震工事(診)	かの有無(予定含む)						
		建物	加名	実施時期		診断結果等		
耐震コ	[事							
耐震調	多断							
今後の方向性								
方向性判例	断の結果	存続廃止 分類	I (名	字続)	判断 結果	現状	維持	
施設の今後	の方向性	必要な修繕	を行い、長期	月使用できる。	よう施設を維	持していく。	o	
今後7年間で	行う予定の	事業等						
大規模	莫改修•修繕	善・廃止等の	事業	概算額	(千円)	備	考	
NO	6	分類	環境衛	生施設	生施設 「所管課		環境課	
施設名	宍粟	北残渣最終处	D分場	建物名	;	曼出水処理棟	Ī	
所在地	千種田	订岩野辺177	'-157	延床面積(合計)	248.m²	主体構造	鉄筋コンクリート	
建築年	1990年	耐用年数	38年	取得価格(合計)	111,068,000円	建物数	2	
					建物残償却割合		2	
			印年数	建物残價	賞却割合	. —	面判定	
施設の現状	ハード面	残償去	-		賞却割合 1%	. —	面判定	
施設の現状	ハード面	残償去	印年数		, , _,_	ハード A (仮	面判定	
施設の現状		残償去	印年数	24	1%	ハード A (優 ソフト	面判定建全)	
施設の現状 耐震工事(診断	ハード面	残償を 9 公共性 a(高い)	印年数 年 有効性	2 ⁴ 効率性	1% 特質性	ハード A (優 ソフト	面判定 建全) 面判定	
	ハード面	残償を 9 公共性 a(高い)	印年数 年 有効性 a(高い)	2 ⁴ 効率性	1% 特質性	ハード A (優 ソフト	面判定 建全) 面判定	
	ハード面 ソフト面 fi)の有無(残償を 9 公共性 a(高い) 予定含む)	印年数 年 有効性 a(高い)	24 効率性 b (普通)	1% 特質性	ハード A(復 ソフト	面判定 建全) 面判定	
耐震工事(診)	ハード面 ソフト面 fi)の有無(残償を 9 公共性 a(高い) 予定含む)	印年数 年 有効性 a(高い)	24 効率性 b (普通)	1% 特質性	ハード A(復 ソフト	面判定 建全) 面判定	
耐震工事(診)性	ハード面 ソフト面 所)の有無(音	残償を 9 公共性 a(高い) 予定含む)	印年数 年 有効性 a(高い)	24 効率性 b (普通)	1% 特質性	ハード A(復 ソフト	面判定 建全) 面判定	
耐震工事(診断 耐震) 耐震	ハード面 ソフト面 所)の有無(音	残償を 9 公共性 a(高い) 予定含む)	印年数 年 有効性 a(高い) 加名	24 効率性 b (普通)	1% 特質性	ハード A(像 ソフト が 診断結果等	面判定 建全) 面判定	
耐震工事(診断 耐震コ 耐震調 う後の方向性	ハード面 ソフト面 所の有無(音) がの結果	残償法 9 公共性 a (高い) 予定含む) 建物 存続廃止 分類	部年数 年 有効性 a(高い) か名	24 効率性 b (普通) 実施時期 子続)	1% 特質性 a (高い)	ハード A(像 ソフト が 診断結果等 現状	面判定	
耐震工事(診断 耐震] 耐震調 可震調 今後の方向性 方向性判断	ハード面 ソフト面 がの有無(音) が がの結果 の方向性	残償法 9 公共性 a (高い) 予定含む) 建物 存続廃止 分類 必要な修繕	部年数 年 有効性 a(高い) か名	24 効率性 b (普通) 実施時期 子続)	1% 特質性 a (高い) 判断 結果	ハード A(像 ソフト が 診断結果等 現状	面判定	
耐震工事(診断 耐震工事) 耐震記 一一一一 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	ハード面 ソフト面 所の有無(ご 事 診断 所の結果 の方向性 行う予定の事	残償法 9 公共性 a (高い) 予定含む) 建物 存続廃止 分類 必要な修繕	部年数 年 有効性 a(高い) 加名 【 (存 を行い、長期	24 効率性 b (普通) 実施時期 子続)	1% 特質性 a (高い) 判断 結果 よう施設を維	ハード A(像 ソフト が 診断結果等 現状 持していく。	面判定 面判定 人	
耐震工事(診断 耐震工事) 耐震記 一一一一 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	ハード面 ソフト面 所の有無(ご 事 診断 所の結果 の方向性 行う予定の事	残償法 9 公共性 a (高い) 予定含む) 建物 存続廃止 分類 必要な修繕を 必要な修繕を	部年数 年 有効性 a(高い) 加名 【 (存 を行い、長期	24 効率性 b (普通) 実施時期 子続) I使用できる。	1% 特質性 a (高い) 判断 結果 よう施設を維	ハード A(像 ソフト が 診断結果等 現状 持していく。	面判定	

環境衛生施設

NO

5

分類

所管課

環境課